

12月
4月

「知る、見る、遊ぶ太陽の塔」

日時 | 開催中～4/12(日) ※3/2(月)～12(木)の間は休止
10:00～17:00(入館は16:30まで)

場所 | EXPO'70 パビリオン ホワイトエ

1970年に開幕した大阪万博は、2020年で50周年を迎えます。本展では、その大阪万博で強烈な存在感を放ち、現在は万博記念公園のシンボルとなっている「太陽の塔」をピックアップします。今回は太陽の塔を「知る」、当時の模型を「見る」、パズルで「遊ぶ」、そんな「知る、見る、遊ぶ」をテーマとした展示となっております。ぜひこの機会に本展をお楽しみいただき、50周年を迎える太陽の塔に会いに来てください。



料 金 | 高校生以上500円 ※別途自然文化園入園料が必要



【監修】橋爪紳也氏
1960年12月6日生まれ。大阪市中央区出身。大阪府立大学研究推進機構特別教授、大阪府立大学観光産業戦略研究所長。京都大学工学部建築学科卒、同大学院修了。建築史・都市文化論専攻。工学博士。小学4年生の時に大阪万博を経験。計18回足を運び、すべてのパビリオンに入館。パズル集めに熱中する日々を過ごす。2025年大阪・関西万博の基本構想、会場計画立案に参画。大阪・関西万博具体化検討委員会

Pick
UP

レストラン Park Cafe

時間 | 11:00～16:30 (L.O.16:00)

場所 | 大地の池 西側

大地の池を望む、全面ガラス張りのレストラン。広々としたくつろぎ空間に居ながら、万博記念公園の移ろいゆく四季を優雅に感じることができます。シェフが心を込めて作る美味しい料理でランチからカフェまで、安らぎのひとつをお過ごしください。メニューも豊富でパスタや手ごねハンバーグ、特製カレーなどもあります。



大人から子どもまで人気のオムライスは、特製デミグラスソースをかけた一品。



たっぷりの野菜をのせたローストビーフ丼は、シェフのおすすめメニュー。

Menu	
・本日のワンプレートランチ	1,408円
・本日のパスタ	1,100円
・手ごねハンバーグステーキ	1,408円
・パーク特製カレーライス	1,100円
・オムライス	1,210円
・ローストビーフ丼	1,650円

1月

西日本最大級の本数 11種約1万本のアイスチューリップ

開花期間 | 開催中～1月下旬 場所 | 太陽の広場

通常、春先に咲くチューリップの花を、真冬でも楽しむことができるアイスチューリップ。特殊な栽培管理技術で開花時期を調整し、冬は気温が低いいため開花後も1ヶ月近くも長く楽しむことが特徴です。真冬に咲き誇るチューリップで一足早い春をお楽しみください。



料 金 | 無料 ※別途自然文化園入園料が必要

2月

大阪万博50周年記念展覧会

日時 | 2/15(土)～24(月・休) ※2/17(月)は休み
平日13:00～19:00、土・日・休11:00～20:00

場所 | 東京・天王洲 T-ART HALL (東京都品川区東品川2丁目6-10)

大阪万博50周年を記念して東京で展覧会を開催します。本展では、岡本太郎らの当時の貴重な作品はもとより、大阪万博に影響を受けた現代美術家・クリエイターらによる作品を展示し、大阪万博を体験した人にはとて懐かしく、未体験の人には新鮮に感じられる内容となっております。



料 金 | 無料 主催 | 大阪府

問合せ | 大阪府府民文化局府民文化総務課 06-6210-9303

2月
3月

つばき祭

日時 | 2/15(土)～3/15(日) 9:30～17:00 (入園は16:30まで)

場所 | つばきの森

「出雲安寿」「桃割れ」など、約100品種・約260本のつばきが見事な花を咲かせます。日本の観賞用花木として世界的に有名なつばきの花は、遠く万葉の時代から人々を魅了し、ヨーロッパに渡った16世紀当時は、「東洋のバラ」ともはやされていたそうです。



料 金 | 無料 ※別途自然文化園入園料が必要

2月

万博お祭り広場ガレージセール

日時 | 2/9(日) 9:30～16:30 場所 | お祭り広場

衣類や雑貨など、多数販売しています。ぜひ掘り出し物を探しにお出かけください!

料 金 | 中学生以上400円、小学生100円 ※別途自然文化園入園料が必要

主 催 | 日本ガレージセール協会 問合せ | 06-6362-6322

カルチャー・遊び

万博おもしろ自転車広場

時間 | 9:30～17:00(受付は16:30まで)

休 | 水曜日休

料金 | 1名(3歳以上)30分500円

※別途自然文化園入園料が必要

※小学生未満のお子様は

保護者同伴(有料)でご利用ください。

電話 | 06-6875-7755(自転車センター万博事業所)



"びよん"と跳ねたり、"ゆらゆら"揺れたり、横向きに進んだり!?約40種類100台のユニークでおもしろい自転車が大集合!お子様はもちろん、ご家族やカップル、友達同士など大人もお楽しみいただけます。

巨大立体アスレチック迷路「迷宮の砦」

時間 | 9:30～17:00(受付は16:30まで)

休 | 水曜日休

料金 | 「知カコース」「体カコース」

各コース1名500円(3歳以上有料、

体カコースは小学生から利用可)

※別途自然文化園入園料が必要

※小学生未満のお子様は保護者同伴(有料)でご利用ください。

電話 | 06-6875-7755(自転車センター万博事業所)



高さ13m、5階層の巨大アスレチック迷路。スリル満点のアスレチックを進んでいくコースと隠されたスタンプを探していくコースがあります。※サンダルでのご利用はできません。ご利用の際は運動靴を貸出します。

夢の池サイクルボート

時間 | 9:30～17:00(受付は16:40まで)

休 | 水曜日休

料金 | 2人乗り20分1,000円、

4人乗り20分1,300円

※別途自然文化園入園料が必要

※小学3年生までのお子様は

保護者同船でご利用ください。

電話 | 06-6875-6643(自転車センター 万博事業所)



ご家族やカップルでお楽しみいただける2人乗り・4人乗りのボートがたくさん。人気のスワン型にはブラックも仲間入り!土日祝は午後から込み合いますので午前中のご利用をお勧めします。

大阪日本民芸館

時間 | 10:00～17:00(入館は16:30まで) 休 | 水曜日休 ※2月下旬まで冬季休館 料金 | 大人710円/高校・大学生450円/小・中学生100円(この入館料で、自然文化園・日本庭園にも入園できます。)

※大阪日本民芸館では「友の会」会員を随時募集しています。詳細はお問い合わせください。

HP | <http://www.mingeikan-osaka.or.jp/> 電話 | 06-6877-1971

2020年春季特別展「民藝の力ーパビリオン「日本民芸館」とEXPO'70ー」

期間 | 3/1(日)～7/14(火)

大阪日本民芸館は1970年の大阪万博で出展された、パビリオン「日本民芸館」の展示館を継承して開館しました。本展では、当館の前身であるパビリオン「日本民芸館」開館50周年を記念し、全館通しての大阪万博当時の再現展示を行うと共に、当館の代表的な収蔵品や現在活躍する作家の作品をご紹介します。大阪万博当時の熱気溢れる展示空間をこの機会にぜひお楽しみください。



濱田庄司
白釉黒流描大鉢

国立民族学博物館

時間 | 10:00～17:00(入館は16:30まで) 休 | 水曜日休 料金 | 一般580円/大学生250円/高校生以下無料

公式 Facebook、Twitter でみんぱくと交流しよう。

HP | <http://www.minpaku.ac.jp/> 電話 | 06-6876-2151

コレクション展示

「朝枝利男の見たガラパゴス——1930年代の博物学調査と展示」

日時 | 開催中～3/24(火)
10:00～17:00
(入館は16:30まで)

場所 | 企画展示場の一部

料金 | 本館展示観覧料で

ご覧いただけます。



ガラパゴスでパイプをふかす
朝枝利男

アメリカの学芸員で写真家の朝枝利男が1930年代に撮影したガラパゴスの風景や動植物などを、彼の描いた美しい魚の水彩画とともに紹介します。

みんぱく映画会「廻り神楽」

日時 | 2/11(火・祝)
13:30～16:00
(開場13:00)

場所 | 講堂

料金 | 要展示観覧券

岩手県三陸海岸を舞台に、340年以上にわたる、毎年、巡業の旅をする黒森神楽。大津波を生き抜いた神楽と、その地に暮らす人びとの力強さを描いたドキュメンタリーです。



もっとも人気のある山の神舞
「ヴィジュアルフォークロア」

第500回みんぱくゼミナール

「文明の転換点におけるミュージアム——みんぱくのこれまでとこれから」

日時 | 2/15(土)
13:30～15:00
(開場13:00)

場所 | 講堂

料金 | 無料

講師 | 吉田憲司(本館長)

人類の文明は、現在、大きな転換点を迎えています。人類学と博物館、そしてみんぱくが、これまでの動きを踏まえて、今、どのような地点に立ち、これから、どのような方向へ向かうとしているのかをお話します。



施設の規模で、みんぱくは世界最大の民族学博物館となっている

ウィークエンド・サロン——研究者と話そう

日時 | 毎週日曜日14:30～
(30～60分)

場所 | 本館展示場など

料金 | 無料(要展示観覧券/

申込不要)

①2/16(日) 「バリ島トウンガナン歴100年分のカレンダーをつくる」 山本泰則(本館准教授)
②2/23(日・祝) 「収蔵庫を窓からのぞいてみよう」 園田直子(本館教授)
みんぱくの研究者が展示場に登場し、展示や研究についてお話しします。

